

「研究課題名：一般住民・医師の抗菌薬の適正使用に影響する要因の検討」への

ご協力をお願い

情報の利用目的及び利用方法

薬剤耐性菌は世界的に増加し、世界保健機関（WHO）の重要課題となっている。平成 28 年、日本は「薬剤耐性対策アクションプラン 2016-2020」を策定しました。プランに掲げた対策として、国民の知識と理解の増進、専門職に対する薬剤耐性に関する教育・研修の推進等が重要視されています。しかし、施策立案と、耐性菌へどのようなアプローチを行うべきか判断するにあたり、科学的根拠を示すための研究は日本においてまだ十分には行われておりません。本研究では、一般住民・医師の抗菌薬に対する知識・関心・態度が行動へ与える影響を評価するとともに、抗菌薬処方の実態を明らかにすることを目的としています。特に、当該研究では、広島県呉市及び庄原市国民健康保険診療報酬明細書（平成 29 年度分）を用いて、抗菌薬処方の状況把握を行います。なお、上述の一般住民・医師の抗菌薬に対する知識・関心・態度が行動へ与える影響については別途アンケート調査により実施しております。

診療報酬明細書は呉市・庄原市により個人情報及び個人識別符号は削除されております。このため、国立感染症研究所では対象者を識別することができないデータのみを扱うこととなり、解析には個人を特定できる情報は含まれておりません。本研究責任者の責任の下、国が定めた倫理指針に従って厳重に保護、保管され、本研究の担当者（国立感染症研究所所属の研究責任者および研究分担者）以外は利用いたしません。研究の成果を学会あるいは誌上に公表する際にも、個人を特定できる形での公表は行いません。

利用情報

利用情報：広島県呉市及び庄原市国民健康保険加入者の診療報酬明細書（平成 29 年度分）

情報の項目：性別、年齢、レセプト種別、病院・診療所区分、時間外、傷病名コード、ICD-10 情報、傷病名称、診療開始日、主病名フラグ、疑い病名フラグ、診療行為コード、診療行為名、区分番号、診療識別コード、医薬品コード、医薬品名、使用量、回数、剤型

利用する者の範囲

本研究の担当者（国立感染症研究所所属の研究責任者および研究分担者）

情報の管理責任者

国立感染症研究所感染症疫学センター 主任研究官 土橋西紀

連絡先

国立感染症研究所感染症疫学センター 主任研究官 土橋西紀（つちはしゅうき）

〒162-8640 東京都新宿区戸山 1-23-1

電話： 03-5285-1111（代） 内線：2135

Fax： 03-5285-1177 E-mail: yuuki@niid.go.jp